

フードバンク活動の現状と課題

令和元年11月25日

一般社団法人全国フードバンク推進協議会

1

全国フードバンク推進協議会について



弊会は、食品ロス削減・貧困問題の解決に向けて国内フードバンク活動の普及・推進に取り組む全国的なネットワーク組織です。

【活動内容】

- 全国のフードバンク団体への食品提供
- ノウハウ支援や新設団体の立ち上げ支援
- 広報活動
- 政策提言活動

◆東北地方

NPO法人フードバンク岩手
一般社団法人フードバンクあきた
NPO法人ふるさとぼんく東北AGAIN
NPO法人ザ・ピープル
一般社団法人フードバンクしのまき

◆関東地方

NPO法人フードバンク茨城
NPO法人フードバンクネット西埼玉
フードバンクちば
NPO法人フードバンク船江
NPO法人フードバンクTAMA
フードバンクみたか
NPO法人フードバンクひらつか

◆中部地方

NPO法人フードバンクにいがた
認定NPO法人フードバンク山梨
NPO法人NPOホットライン信州
NPO法人POPOLO
フードバンクしばた
NPO法人フードバンク八王子子えがお
NPO法人Wish
フードバンク調布

◆近畿地方

フードバンク滋賀
NPO法人セカンドハーベスト京都
NPO法人フードバンク和歌山
フードバンク奈良
フードバンクびわ湖

◆中国・四国地方

フードバンク高知
順正テリシャスフードキッズクラブ
(学校法人 順正学園)
フードバンクとくしま

◆九州地方

NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
社会福祉法人南苑会熊本藤富保育園
(フードバンク熊本)
NPO法人Joyステーション
(フードバンクお助けマン霧島)
NPO法人フードバンク福岡
NPO法人フードバンク奄美

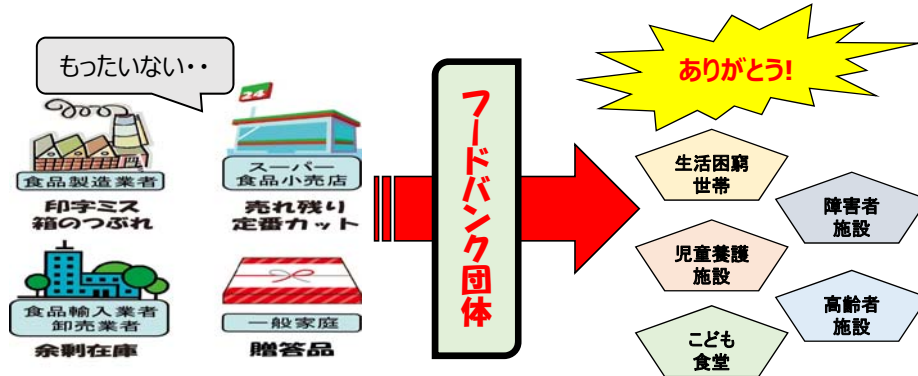
(全33団体、2019年11月現在、順不同)

2

フードバンク活動の意義

フードバンク活動とは、安全に食べられるのに包装の破損や余剰在庫、印字ミスなど、様々な理由で流通に出すことができない食品を企業等から寄贈していただき、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。

フードバンク活動を通して、食品ロス削減と貧困対策を推進することができます。



3



アメリカのフードバンク

【フィーディング・アメリカの活動実績】

- 支援者数：4600万人 そのうち、子供1200万人（26%）、高齢者700万人（15%）
- 困窮世帯への総食品提供数：43億食
- 食品ロス削減量：35億ポンド（158万トン）

【アメリカでのフードバンクに対する公的支援】

- 助成金制度
- 農務省が買い上げた余剰農畜産物の提供
- 食品寄贈者の責任を免除する法律（ビル・エマーソン善きサマリア人食料寄附法）
- 寄付者の税制優遇制度

※フィーディング・アメリカについて

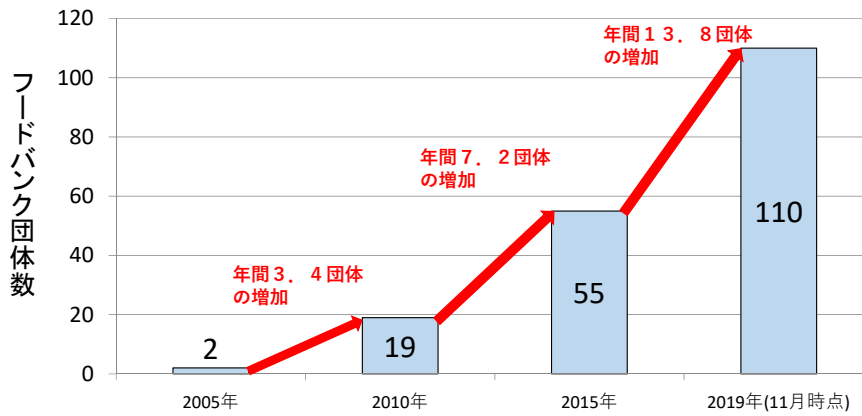
全米のフードバンク203団体で構成されるネットワークを有する、米国最大の食料支援団体。各家庭や企業から寄贈された食品を米国のほぼ全ての地域の困窮世帯に分配し、食品ロス削減や飢餓の根絶に取り組んでいる。

参考：2018 Annual Report | Solving Hunger Today, Ending Hunger Tomorrow
https://www.feedingamerica.org/sites/default/files/2018-12/2018%20Feeding%20America%20Annual%20Report_0.pdf

4

国内フードバンクの現状

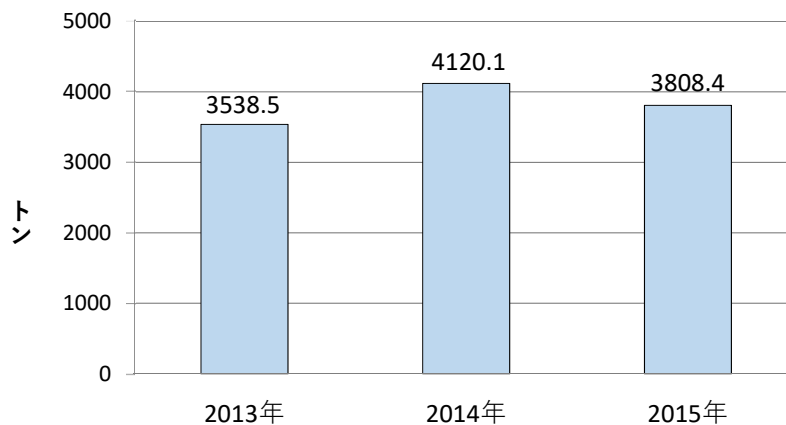
国内フードバンク団体数の推移



- フードバンク活動は、日本国内では2000年頃から開始されている。
- 2019年11月時点で110団体が国内で活動しており、直近の4年間で倍増。
- 全ての都道府県で最低1つ以上の団体が活動している。

5

国内フードバンク団体の食品取扱量の推移



- 食品取扱量は団体数の増加ほど増えていない。
- 生活困窮者自立支援制度による相談窓口の設置（1313機関）、こども食堂の増加（3718ヶ所）に伴う支援ニーズの増加に対応出来ていない。
- フードバンク団体の数が急増する一方で、全体の食品取扱量は増加していないため、1団体あたりの取扱量は減少している。

6

参考：公益財団法人流通経済研究所（2017）「国内フードバンクの活動実態把握調査及びフードバンク活用推進情報交換会」

食品ロス削減を阻む国内フードバンク団体の共通課題

- 全国のフードバンク団体は、以下の共通課題が原因で食品取扱量を増やすことができていない。
 - ① インフラ整備（事務所・倉庫・配送用車両等）
 - ② 人手不足
 - ③ 運営費の不足
 - ④ ノウハウの不足
 - ⑤ 認知度不足
 - ⑥ 食品寄贈に伴う法的リスク
 - ⑦ 行政との連携不足

7

国内フードバンクの課題解決に向けて

- 国内フードバンクの共通課題を解決し、フードバンク活動を通して食品ロスの削減を推進するためには、以下の施策が必要。

解決策	基本方針骨子案に該当する箇所
フードバンク団体の基盤整備（人件費、事務所、倉庫、配送用車両等への公的な補助）	
フードバンク団体への研修やコンサルティング	
食品企業、一般家庭への周知啓発	(1) 教育及び学習の振興、普及啓発等
食品寄贈に伴う法的責任の軽減	(6) 未利用食品を提供するための活動の支援等
フードバンクと行政との連携促進（環境課、経済課、福祉課、教育委員会等）	

8